

【教育委員会議事録】令和2年1月定例会

開催日時	令和2年1月28日（火） 9：30～10：10
開催場所	下関市教育センター 3階中研修室
出席委員の氏名	児玉 典彦（教育長） 小田 耕一（教育長職務代理者） 藤井 悦子 吉村 邦彦 児島 まさ子
欠席委員の氏名	欠席なし
委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名	<p> 教育部長 竹内 徹 教育部次長 藤田 信夫 教育部次長 三井 清 教育調整監 萬松 佳行 教育政策課長 田村 尚美 学校教育課長 大田 一夫 教育指導監（生徒指導推進室長） 瀬下 信二 教育研修課長 岡 良治 学校支援課長 大賀 健 学校保健給食課長 山本 匡章 生涯学習課長 異儀田 正康 文化財保護課長 濱崎 真二 教育部参事（図書館政策課長事務取扱） 鶴田 将之 教育部参事（美術館長・歴史博物館副館長事務取扱） 中村 美幸 下関商業高等学校事務長 富田 智雄 菊川教育支所長 山本 洋美 豊田教育支所長 石田 正成 豊浦教育支所長 日吉 克浩 豊北教育支所長 西村 敬教 教育政策課長補佐 内田 泰敬 教育政策課主査 倉前 啓介 教育政策課主任 峰岡 優介 こども未来部 幼児保育課長 東矢 博信 こども未来部 幼児保育課長補佐 齋藤 浩三 </p>
傍聴人の数	傍聴人なし

次第（目次）

【開会の宣告】	P 3
【署名委員の指名】	P 3
【教育長報告】	P 3
【専決の報告】 小串公民館車両損傷事故について	P 4
【報告事項】	
「学校給食・くじら交流の日」について	P 5
「ふく給食の日」について	P 6
下関市立就学前施設の整備基本計画（後期計画）案について	P 7
【その他】	P 10
【閉会の宣告】	P 10

【開会の宣告】

児玉典彦（教育長）

それでは、教育委員会 1 月定例会を開催いたします。

【署名委員の指名】

児玉典彦（教育長）

本日の議事録の署名委員は児島委員、小田委員をお願いいたします。

本日の日程は、日程 1 の専決の報告が 1 件、日程 2 の報告事項が 3 件、日程 3 その他となっています。

【教育長報告】

児玉典彦（教育長）

それでは、最初に教育長報告を行います。資料をご覧ください。

年末年始は、公務がなく、ゆっくりできると思っていたのですが、新しくできる豊北小学校の体育館に掲示する校歌を墨書するというので、歌詞を大きな紙に書くだけですが、これに追われて、精根尽き果てました。膝と腰と、あちこちが痛くなって、10 枚目を書こうと思ったら、途中で書けなくなって、9 枚目で諦めました。しかし何とか 1 枚まともなもののできたので、それを表装に出そうと思います。

1 月 6 日（月）公務始め式があり、9 時から本庁で、10 時 15 分から教育センターで行いました。

8 日（水）東部地区保健推進委員会年始の研修会で講演をしてほしいということで、10 時～11 時まで 1 時間ほど講演をしました。保健推進委員の皆さんが、地域で自分たちの役割に気が付いてがんばろうという、そういう気持ちになればと思って、話をさせてもらいました。

9 日（木）財政部長ヒアリング、これは復活予算といって、12 月の予算要望で駄目だったものをもう 1 回お願いしますという時間です。1 月はこの予算のこと、それから、人事異動のヒアリングで、小中学校の校長から話を聴くということで、私よりも、竹内部長以下、部次長、担当課の課長も大変な思いをしましたが、何とか先日市長査定も終わりましたので、今週の中頃に結果の通達があるようです。うまく予算がついてくれればと思っています。

11 日（土）海峡メッセ前で市の消防出初式がありました。その後、メッセのイベントホールで梯子乗りの披露があって、今回が 2 回目の観覧でしたが、いつ見てもすごいと思いました。

12 日（日）成人の日の式典があり、初めて同日に、市民会館、アブニール、夢が丘スポーツセンターの 3 か所に参加しました。それぞれに特徴があって、いい成人式を行えたと思います。この成人式に参加された委員さんで、どなたか感想があればお願いします。それでは、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

市民会館では、下関市出身で舞妓さんになっておられる方が舞を披露しておられました。会場がしーんとなってみんなが注目しており、いろいろな職業に就いて羽ばたいている成人もいらっしやるということを強く感じました。

児玉典彦（教育長）

はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

市民会館の後、地元の菊川に戻りまして、アブニールでの成人式に参加しました。市民会館とは雰囲気違って、本当にアットホームで菊川・豊田の方、保護者の方や地域の方がたくさんおられて、成人をみんなでお祝いしていたというのがとてもよかったと思います。今回で私は 5 回目の参加になるのですが、記念写真のときに、いつも一番前に座って女の子と並ぶのですが、初

めて両横に男の子が並んだというのがとてもうれしかったです。以上です。

児玉典彦（教育長）

その他はよろしいですか。それでは次に、15日（水）に商工会議所の新春会員大会がありました。特に報告することはないのですが、この会に出ると、活躍している教え子に会えることがとてもうれしいです。

16日（木）王喜こども園保護者を対象とした講演会がありました。講話を1時間ほど頼まれたのですが、保護者の皆さんがとても熱心に聴いてくれました。これからは、小学校も大事ですが、こういう未就学の子供を持つ保護者にお話ができればと思っており、来週、園長会で話をすることになっているので、少し宣伝をさせてもらおうかと思っています。

17日（金）3市合同防災図上訓練が、午前中に3時間ぐらいありました。とてもハードな会ですが、今年は例年に比べ、紙で回ってくる様々な課題が比較的少なくて、少し余裕ができたように思います。私が2年目ということもあるのですが、去年よりは随分気持ち的にも体力的にも楽でした。

19日（日）城下町長府マラソンの開会式に出席しました。挨拶をして、その後スターターとしてピストルを鳴らしました。年々盛んになっているようで、うれしく思います。

20日（月）文教厚生委員会、22日（水）教育長協議会がありました。教育長協議会は、県教育庁義務教育課とこれからの人事異動や来年度の方向性について協議する会です。

25日（土）食農教育実践報告大会があり、秋根にあるJA下関統括本部大講堂という大変立派な講堂で発表会がありました。誠意小と角倉小がそれぞれ1年間の取組を発表するのですが、残念ながら誠意小はインフルエンザのため5年生が学年閉鎖という理由で、この日はビデオ発表になりました。ですが、映像から子供達の一生懸命な様子が伝わってきて安心しました。角倉小は稲作りということで、なかなかうまくいかなかったようですが、それでも収穫できたお米を自分達で炊いて食べたのがとてもうれしかったようで、その笑顔を見て、私もとてもうれしくなりました。

26日（日）全国高等学校柔道選手権大会山口県大会が県立武道館でありました。私も招待されて開会行事に出て、1時間ほど試合を観ました。そんな中で、強い学校が萩高校を除いてすべて私学であるということでした。これは指導者の問題・施設の問題等あると思うのですが、今いろいろな分野で、私学の部活動が強くなってきて、公立は人事異動による転出もあり、指導者が育ったと思ったら代わる、チームが強くなったと思ったら指導者が代わるということで、なかなか継続して1つの部が強くないというような悩みもあるようでした。

27日（月）は、オリンピック・パラリンピック教育推進校の運動教室があり、午前中に栗野小に行ってきました。指導者は、ソウルで体操団体銅メダルの水島宏一さんでした。そこで驚いたのが、栗野小8人の児童のうち2人は跳び箱が飛べなかったのです。できる6人が別のところで跳び箱を飛んでいて、その後ろの方でできない2人に指導していたのですが、10分くらいたって、ふと見たらできなかった2人が跳び箱を飛んでいるのです。専門家が指導するというのは何かが違うのだろうと思って驚きました。地域の方もたくさん参加していて、高齢者向けの体操もありました。私も上着を脱いで一生懸命参加しまして、昨日の晩からさっそく実行しています。

以上で教育長報告を終わります。何かご質問はありますか。

（ありません）

児玉典彦（教育長）

ないようでしたら、日程1の専決の報告に入ります。

【専決の報告】

小串公民館車両損傷事故について

児玉典彦（教育長）

「小串公民館車両損傷事故について」、豊浦教育支所、日吉支所長、お願いします。

日吉克浩（豊浦教育支所長）

豊浦教育支所長の日吉でございます。それでは専決の報告について、ご報告いたします。資料2ページをご覧ください。これは、令和元年12月の本定例会にご報告いたしました下関市立小串公民館敷地内における外壁落下に伴う車両損傷事故について、地方自治法第180条第1項の規定により、損害賠償の金額を決定し、相手方と示談することを決定したものでございます。損害賠償の金額は消費税込みで58,579円、相手方は市内豊浦町大字小串4番地1の中西芳美さんです。中西芳美さんとは令和2年1月16日に示談書を交わしております。なお、本件につきましては令和2年第1回下関市議会定例会にて同様に報告したいと考えております。以上でございます。よろしくお願いいたします。

児玉典彦（教育長）

ご質問、ご意見があればお願いします。

（ありません）

児玉典彦（教育長）

特にないようですので、本件につきまして報告済みといたします。

【報告】

「学校給食・くじら交流の日」について

児玉典彦（教育長）

引き続き日程2報告事項であります。最初に、『「学校給食・くじら交流の日」について』、学校保健給食課、山本課長、お願いします。

山本匡章（学校保健給食課長）

「学校給食・くじら交流の日」についてご説明いたします。3ページをご覧ください。古式捕鯨のまちである長門市と、近代捕鯨のまちである下関市は、市の枠組みを越えて、くじら食文化の一層の普及啓発を目的に、平成24年度から「学校給食・くじら交流の日」を実施しております。8回目となる今年度は、両市でクジラの竜田揚げを共通の献立として、2月3日（月）に実施いたします。吉田小学校では、前田市長、児玉教育長、小田教育委員、児島教育委員、竹内部長を来賓に招いて実施し、その様子をマスコミに取材していただく予定です。また、吉田小学校では、給食の会食前に文化財保護課職員によるクジラの講話を行います。小田教育委員には児童に対して食後の感想を述べていただきたいと思います。4ページに、学校給食・くじら交流の日のチラシをつけておりますのでご覧ください。クジラについては、マスコミの取材がいろいろとありまして、一番は商業捕鯨に関することです。今までは、鯨肉は調査捕鯨で捕られたクジラの副産物という形で、学校給食に市場価格より安く提供していただきました。現時点ではまだ来年度の学校給食への鯨肉の入手がどういう形になるか決まっておりませんが、水産課と情報共有しながら鯨肉の確保に努めたいと思います。以上、学校給食・くじら交流の日についてご報告いたします。

児玉典彦（教育長）

ご質問、ご意見がありますか。

（ありません）

児玉典彦（教育長）

よろしいですか。ないようですので、本件について、報告済みといたします。

【報告】

「ふく給食の日」について

児玉典彦（教育長）

続きまして、『「ふく給食の日」について』、学校保健給食課、山本課長、お願いします。

山本匡章（学校保健給食課長）

「ふく給食の日」についてご説明します。5ページをお開きください。ふくは下関市を代表する地場産物です。地域の自然や文化、産業等に関する理解を深め、生産に関わる人の努力や食への感謝の思いを持つことを願い、平成6年度から、2月9日のふくの日的前後にふく給食の日を実施しております。26回目となる今年度は、ふく鍋を献立とし、2月7日（金）に実施します。長府小学校では、前田市長、児玉教育長、吉村教育委員、藤井教育委員、三井部次長を来賓に招いて実施し、その様子をマスコミに取材していただく予定です。藤井教育委員には、食後の感想を児童の前で述べていただきたいと思います。6ページに、ふく給食の日のチラシをつけておりますのでご覧ください。以上、ふく給食の日についてご報告いたしました。

児玉典彦（教育長）

はい、ありがとうございました。どうぞ、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

クジラ給食のような食前の勉強や講話などはあるのでしょうか。

児玉典彦（教育長）

はい、山本課長。

山本匡章（学校保健給食課長）

クジラに関しては市役所内部に専門家がいるのですが、ふくの方はいないので、昨年度は市長が簡単にふくの説明をしまして、子供達も勉強をしたものを披露していましたが、今年は特にイベント等は用意していません。

藤井悦子（教育委員）

以前ゲーム・クイズ形式等もあったのですが、今回は特になく、食べるだけということですね。

児玉典彦（教育長）

はい、山本課長。

山本匡章（学校保健給食課長）

学校の方のイベントは学校で考えていると思います。今のところ、特別なことをするとは伺っていません。当日に何かあるかもしれませんので、ご対応をお願いします。

児玉典彦（教育長）

その他によろしいでしょうか。

（ありません）

児玉典彦（教育長）

その他に特にないようですので、本件について報告済みといたします。

【報告事項】

下関市立就学前施設の整備基本計画（後期計画）案について

児玉典彦（教育長）

次に、「下関市立就学前施設の整備基本計画（後期計画）案について」、こども未来部幼児保育課、東矢課長、お願いします。

東矢博信（幼児保育課長）

幼児保育課の東矢でございます。下関市立就学前施設の整備基本計画（後期計画）案についてご報告いたします。別冊資料によって説明しますのでよろしく申し上げます。本市では、教育保育をはじめ、さまざまな子育て支援サービスの充実と質の向上を進め、安心して子育てができる環境づくりを計画的に進めていくため、「市立幼稚園、保育園の連携及び幼保一元化推進の基本方針」「下関市立幼稚園の適正規模適正配置に関する基本方針」及び「保育環境適正化推進基本方針」という3つの基本方針を定めております。これらの基本方針を具現化する計画として、平成27年3月に下関市立就学前施設の整備基本計画を策定し、市のホームページで公表しているところでございます。本整備基本計画は、下関市総合計画と下関市こども・子育て支援事業計画の下位計画として位置づけしてございまして、このたび下関市こども・子育て支援事業計画を包含した”For Kids”プランの更新に合わせて計画を見直すものでございます。本計画を策定した平成27年4月時点では、市立の幼稚園16園、保育園17園、認定こども園6園の合計39園を運営していましたが、この計画に沿って老朽施設や小規模施設の廃止や統廃合を進めた結果、今年度4月時点では、幼稚園8園、保育園10園、認定こども園9園の合計27園にまで園数が減っております。今後の少子化の影響や家庭地域を取り巻く環境の変化に対応していくためには、この後期計画案に沿って統廃合等を進めていく必要があると考えてございます。このたび本整備基本計画を見直すに当たっては、前期計画の考えを基本とし、”For Kids”プランの更新に伴いまして、新たに算出した令和2年度から6年度までの5年間の教育保育の需要の見込みの数値に基づいて修正を加えております。後期計画案の説明に入る前に、まずは前期計画における基本的な考え方について簡単にご説明いたします。前期計画を策定した時点においては、市立幼稚園の多くが園児数の減少によって小規模化が進んでいたことから、適正な集団の中で教育保育の実践が難しい状況にございました。一方で保育園では保育ニーズの高まりによりまして、本来の定員を超えて乳幼児を預かる必要があったため、遊戯室を保育室として兼用するなど、適切な施設環境下での教育保育の実践が難しくなっておりました。また、施設の多くが整備後30年以上経過し、老朽化が進んでいたことに加え、耐震性が十分確保できていない施設もあるなど、将来的に大規模改修や耐震改修工事を行う必要がありました。こうした課題の解決のため、前期計画では小規模化や施設の老朽化等が進む施設の集約化を図りながら保護者の就労形態にかかわらず子供たちが教育保育の機会を得られる認定こども園への移行を推進していくことを基本としております。また、市内には多くの私立の幼稚園や保育園があるため、公立施設として担うべき役割について整理した上で、下関市内を10地区に分け、それぞれの地域の教育保育に係るニーズや既存施設の様態、設置状況を踏まえ計画として取りまとめたものでございます。それでは後期計画案について、すべての地区ではございませんが、前期計画からの修正を加えました施設の概要を地区ごとにご説明いたします。それでは、別冊資料1ページの新旧対照表をご覧ください。まず本庁地区でございますが、第一幼稚園は前期計画では今年度末で廃園としておりましたが、今後も一定の園児数が見込まれるため、予定をずらしております。また、下段の幡生保育園は、今後も一定の保育需要が見込まれる地区にある園として、前期計画では令和元年度から、公私連携による認定こども園に移行し、その後私立こども園とする案でございました。しかしながら、他市が行う公立園の民営化の事例でも、公私連携を経て民営化する事例がほとんどないことから、その公私連携部分を削除しております。次に下の彦島地区でございます。彦島地区の江浦幼稚園は、前期計画の中で、3年教育を導入し今後も市が運営を継続することとしておりました。しかし彦島地区の人口減少や地区内にある私立園の認定こども園の移行に伴いまして、園児数の減少が続き今年4月1日時点における園児数が令和2年度からの新入園児の募集を中止する要件に該当したため、今後廃止することとしております。次に長府地区でございますが、豊浦幼稚園と長府第一保育園を統

合して市立の認定こども園とする計画は、若干当初計画から移行時期をずらしております。また、長府第二保育園は前期計画を策定した時点において、耐震診断の結果が未確定でしたが、その後耐震性が不足しているとの診断結果が出たため、近隣にある長府第三保育園と統合して民設民営の認定こども園に移行することとし、その代わりとして、長府第四保育園を市が継続運営することとしております。続きまして別冊資料2ページをご覧ください。山陽地区でございますが、毎年待機児童が発生している状況でございます。一方で、1号認定子どもの幼稚園タイプの需要は減少することが見込まれておりますので、王喜こども園と小月幼稚園を統合し、本園分園体制による認定こども園に移行することとしてございます。山陰地区につきましては、前期計画の中で、吉見保育園を今年度末までで廃止することとしておりました。しかし、新たに算定した教育保育の需要の見込みでは2号3号認定子どもの需要が微増すると見込まれ、近隣の私立園の園児の受け入れだけでは不足することから、これを踏まえまして、当分の間、市が運営を継続することとしております。最後に別冊資料3ページをご覧ください。3ページの豊浦地区につきましては、前期計画の中で、双葉保育園を平成31年度末で廃止することとしておりましたが、近隣の公私立園の園児の受け入れ状況や教育保育の需要の見込みを踏まえまして、他の施設で双葉保育園分の園児の受け入れ可能となる時期まで、市が運営を継続することとしてございます。なお、本整備基本計画の後期計画案は、こども子育て審議会や、私立の園長会等においてご意見をお聞きしながら、必要な修正を加えつつ、上位計画である”For Kids”プランの策定状況を踏まえ、令和2年3月に策定することとしておりました。あわせて市のホームページでも公表することとしております。以上で下関市立就学前施設の整備基本計画後期計画案についての概要説明を終わります。

児玉典彦（教育長）

ご質問、ご意見があればお願いします。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

質問とお願いがあります。質問は、市内で待機児童と言われる方がどの地域にどれくらいおられるかお伺いしたいのですが。教育長報告でもありましたが、幼児教育は非常に重要だと思います。なかなか教育委員会のこの会議でも、幼稚園の話は出てこず、やはり小中学校に問題、課題が集中します。もう一度幼稚園保育園のところをきちんと見ていかなければいけないと思います。令和6年度までの計画の中で、道路ができたり住宅が変わったりなど、人の住む場所や行動範囲が大きく変わっていきます。そういった意味を含めて、今ここに計画としてありますが、そういう場合には柔軟に対応できるような体制を取っていただきたいと思っています。以上です。

児玉典彦（教育長）

東矢課長。

東矢博信（幼児保育課長）

非常に残念ながら最近の保育需要の高まりによりまして、待機児童は生じている状況です。年度当初は少ないのですが、年度末に向けてじわじわと増えていきます。その原因は出生もあるのですが、育休明けのお子さんがある、特に多い地区は川中、勝山で、特に勝山は公立園がないものですから、一番厳しくなっています。また、長府、山陽地区、加えて本庁もということで、原因は保育士の確保もあるのですが、0歳には3人に1人保育士が必要、1～2歳が6人に1人、3歳が20人に1人、4～5歳が30人に1人ということで、要は園児数に保育士がきれいに比例するわけではなくて、3歳未満のお子様が増えている事情があり、この保育需要が保育の現場を圧迫しているというところ。施設の広さの関係もありますので、需要に対して供給量が追いつかないというのが非常に悩ましいところでございます。特に、昨年10月に始まりました幼児教育保育の無償化の影響も若干見えておまして、例年に比べ申込者が多いような傾向にございます。今から追加募集を受けているんですけども、この結果を見てどうなるかというのがあって、非常に次年度も厳しい状況で、いろいろ考えていかなければならないと考えております。

先ほどおっしゃられました計画の見直しですが、需要が変動しますので、それについては5年と定めておりますけれども、”For Kids“プランと合わせ、中間見直しなど適宜柔軟に見直したいと考えております。

児玉典彦（教育長）

よろしいでしょうか。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

今お話のありました待機児童に関しては、できるだけ減らしていかなければいけないと思いますので、ご尽力をお願いします。

児玉典彦（教育長）

よろしくをお願いします。はい、児島委員。

児島まさ子（教育委員）

平成27年からの第1期計画ということで、江浦幼稚園が一番顕著のようですけれども、いろいろ変化があるようですので、これからも適切に修正をお願いいたします。先日、川中西幼稚園に研修支援で参りました。そのときの話をしたいと思います。毎回幼稚園や保育園に行くと、要支援の子供が3分の1を占めるという数字を聞いて、いつもびっくりするのですが、川中西幼稚園も園児は少ないのですが、同じような状況でした。要支援の子とそうではない子との関わり方が大変難しい中、幼稚園の先生たちが、真摯に子供達と向き合って保育のあり方を研究されている姿勢に大変感銘を受けました。川中西も今年度で終わりですし、3年前に行った向山もそうでしたけれど、目の前に小学校が見えて、長い間小学校と連携ができていたのに、という残念な声も聞きました。また、以前に山口県での会議のときの講習会で、幼児教育がとても大事だという話を聞いて、本当にそうだなと納得しましたけれども、ぜひ幼児教育の方もきちんと見守ってほしいと思います。よろしくをお願いします。

児玉典彦（教育長）

はい、東矢課長。

東矢博信（幼児保育課長）

貴重なご意見ありがとうございます。私どもも、本音を申し上げますと、ぜひ、幼稚園にたくさん行っていただきたいというのがありますが、やはり一番問題なのは、保育時間であり、幼稚園は基本的に14時までになっておりまして、親御さんのニーズが長時間見ていただきたいというのがございます。また、こども園ができて、1号：幼稚園タイプのお子さんがいるんですけども、こども園の利便性と言いますか、とりあえずは1号：幼稚園タイプで入園して、当然14時で帰るのですが、親御さんが働きだしたらそのまま園を変わずに2号：保育園タイプに変わるということで、その辺りが悩ましいところです。要支援の子はおっしゃるように、川中西などにいます。これは障害者支援センターが小規模園へお勧めしている関係で、そういうお子さんが増えてきて、割合が増えています。少人数で加配の職員を配置しております。そのまま小学校に移れるので、私どももできればおっしゃられるように併設校に行っていただきたいと思いますが、行政の思いと保護者の思いとが、なかなかリンクしないということで、私どもも悩んでいます。待機者の解消についても、幼稚園の方にたくさん行っていただくと3歳以上はある程度賄えるのですが、こういったあたりが課題であり、いろいろと研究しているところでございます。貴重なご意見ありがとうございます。

児玉典彦（教育長）

その他にはよろしいでしょうか。

(ありません)

児玉典彦（教育長）

他にはないようですので、本件について報告済みといたします。

【その他】

児玉典彦（教育長）

続きまして、日程3 その他ですが、何かございますか。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

現在、インフルエンザが猛威を振るっています。コロナウイルスの方も拡大していています。私は企業人なので、うちの本社の方も店頭の従業員にマスク着用可と指示が出ました。それと、この日曜日に弊社も、通常の3分の1ではあるんですけど、中国人観光客の方の免税が約20件入っています。都会で起きていること、川の向こうで起きていることということではなく、やはり子供達の安心安全を考えると、手洗いうがいの奨励だとか、あとは朝、家庭で体温を測って学校に来るなどを、教育委員会としても学校の方にぜひ伝えていただければと思います。以上です。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。他にはよろしいですか。感染予防についてのご意見がありました。もっともなことですので、手洗いうがいが習慣化するように、それぞれ担当課の方で学校に連絡をしてもらえればと思います。よろしくお願いします。

次回の日程ですが、令和2年2月の教育委員会定例会は、2月21日（金）午前9時30分から下関市教育センター3階中研修室にて開催の予定です。委員の皆さんよろしいですか。

(はい)

【閉会の宣告】

児玉典彦（教育長）

これで本日の議事は終了いたしました。これで定例会を終了いたします。お疲れさまでした。

(お疲れ様でした)

署名

教育長

署名委員

署名委員

作成職員